

『東京生活支援ファイル——つなぐ——』 について

このファイルは、先に作成した支援ノートと併用することを考えて作りました。支援ノートは1冊のノートとして作成したものを手から手へと手渡しでお届けし、記入して使っていただく方法をとっているのに対して、支援ファイルは育成会のホームページに掲載して、特に詳細な資料を保存したり、記録したい時、必要なページをピックアップしてダウンロードし、本人専用のファイルを作って、使っていただくように作成しました。

このファイルを活用して、積極的に自分のファイルを作り、本人の生活の記録としたり、支援のための情報として役立てていただけるように期待します。

※パソコンが苦手な人には、周りの方が協力していただけるようお願いします。

東京都知的障害者育成会 東京生活支援ノート(ファイル)作成委員会

ご使用にあたって

- ・支援ノートが医療機関や相談窓口に行ったときの情報提供のために、障害のある人のおおよそのアウトラインが分かるように情報を記入していくことを目的にしているのに対して、支援ファイルは一人ひとりの障害特性や家族環境などに合わせて、必要な情報を自分用に記録し、また関係機関からもらった資料を集めて整理し保存しておき、必要な時に役立てることを目的にしています。
- ・支援のために必要な情報は、それぞれの障害によっても違います。例えばてんかんの発作が頻発する方は、子どもの時からてんかんに関する記録を作ってコントロールしている方が多いと思います。その方には、そのことを大きくファイルしていただくように必要な用紙をコピーして自分専用のファイルとして使えます。医療機関からの診断書等をまとめて保管しましょう。
- ・また、学齢期には、個別の教育支援計画や個別指導計画が、学校から提示されていると思います。それをファイルしていき、どういう教育支援を受けてきたか、子どもの成長の過程を細かく振り返ることもできます。
- ・例えば、障害のある子どもが20歳になった時、障害基礎年金の申請をされると思います。そういうときにもこのファイルは大変役立ちます。ファイルの中にも手続きに必要な書類のチェック項目を載せています。

医師に診断書を書いてもらうときに、情報としては生まれた時からの経過が必要になるので、その時にはこのファイルに集めた情報を役立ててください。

(問合せ先：育成会本部 山本)